

作

二二二 受信一九二〇〇 譯了二二二〇〇 電〇一〇二七 航作 本概〇

● 北東方面部隊戰團概報着信艦所

● 第一占守航空基地

機密第〇二一七三二番電

北東空第一占守基地戰團概報第三三號 (二月二日)

艦攻延二機ヲ以テ一〇〇〇ヨリ一〇五迄及一三五〇ヨリ一五二五

迄當方面ノ哨戒並ニ直衛實施異狀ナシ

天候晴雲量七雲高五〇〇米風速六米視界三〇軒所々降雪。

通一一三五 呂一Bケ三(四〇七五K) 三特通 中村(藤 澤)

20. 2. 3



至  
急

二  
三二  
譯受信始  
〇二〇一〇五五  
譯了〇一三五  
電〇一〇九七  
作  
〇

● 南東方面部隊戰鬪概報着信處所

機密第〇二二七四〇番電

R X E 戰鬪概報第四一七號 (一月三十一日 二月一日)

一、三十一日 R X P 〇六〇〇 F 四 U 二機銃擊一〇四五 F 四 U 二機偵察一

日 R X P 一〇一五 F 四 U 一機一〇三五 F 四 U 二機銃擊一三三〇同二

機偵察 R X E 一〇一〇 R X 一〇二〇 F 四 U 各二機銃擊

二、三十一日〇四三〇魚雷艇二隻 R X E 東ヲ Q 〇〇 へ一六〇〇同二隻 Q

〇〇ヲ東航一日〇〇四五魚雷艇二隻 Q D A ヲ銃砲擊〇四〇〇同二隻

R X E 東ヲ Q 〇〇 へ戰果被害ナシ。

通一二一〇 呂ニ B ラ十一 (四九四五 KC) 八通放 吉田 (森、日)

作

二三 受信開始 〇〇五〇四〇九 了 〇六三〇 電 〇一一六二 作

高雄 警備府

海上護衛總司令部・海軍省・聯合艦隊  
南西方面艦隊

支那方面艦隊・二道支艦隊・佐領  
航空艦隊・慶根

機密第 〇二一八〇八 番電

二日一〇一五ヨリ一二三〇ノ間敵戰爆聯合約一〇〇機（日二四約七〇機）  
機P一三八約三〇機）三群ニ分レ臺南高雄臺東地區ニ侵入岡山基地臺南基地  
恒春基地ヲ銃爆撃セリ 戰果日一二四 一機撃破（岡山）被害  
岡山基地ニ於テ戰死一戰傷九一式陸攻炎上四中破二小破一零戰艦攻小破  
一小兵舎一棟全壊車輛一大破

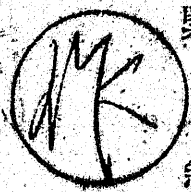
通一二七五 呂一Bケ四（四七〇五K）高通 大石（蘇小）

25. 3-

下

二 受信二三一五  
開始〇〇〇〇  
丁〇一〇〇 電〇一〇九八  
作 稿

緊急



三三根戰概着信艦所・?

機密第〇二一八三五番電

三三特根戰圖概報第一一三號

一二日〇七二〇ヨリ一七一五迄單發二〇、又發三P一三八二、四發四

來襲内單發一〇、四發二海岸線飛行場及陸軍病院附近爆撃セリ

戦果被害ナシ

二敵機避退方向別、機數

北東二三、南西一八、東一七、西一三、南一〇、南東九、其ノ

他ナシ。

通一二四七 呂二B ( B ) 聯合艦隊P 野 村 ( 吉 田 )

20. 2. 3.



手

ル

至 急  
二 三  
受信 一三〇五  
開始 一二五五  
一三一八  
電 〇一二六八  
航作 本概 〇

四 六 警 備 隊

ヤツゾ

● 三〇根 戰 闘 概 報 着 信 艦 所



機密 第 〇 二 一 八 五 〇 番 電

四六警 戰 闘 概 報 第 三 二 號

二日〇九〇〇時一三五〇ノ間 T B P I - P D Y I -

P I 三八 二〇機 來 襲 コロニ ー 附 近 及 マ ツ プ 島 へ 投 弾 戦 果 被 害 ナ

通 一 四 三 六 呂 一 三 十 四 (一 五 七 一 〇 〇 〇) 三 通 入 齋 藤 (久 保 田)

20. 2. 4\*

二二

受信二二三五  
譯始〇〇四五

譯了〇一一二

電〇〇一一〇九三  
四

作

機

至 急

硫 黃 島 空 基 地

第七基地航空部隊戰概通信艦所

機密第〇二一九二四番電二分ノ三

二二△B 戰團機報第一五八號(二月二日)其ノ二

(イ)一五二二、一六〇度一六〇分及一六〇六、一四〇度二〇〇分ニ編隊

探知零戰陸軍一式戰團機各二機ヲ以テ邀撃敵B i 二九各一〇機計二

〇機一六〇二及一七〇〇東海岸及阿沖ニ投彈南方ニ遁走セリ

(ロ)戰果 空戰ニ依リ撃破二

(ハ)被害 ナシ

(ニ)發射彈數(一門平均保有彈數)十二糎高角砲一五五(一〇七)

七、五糎野戰高角砲二(三一)

三、明日發動機數 零戰二 天山一 陸軍一式戰團機二

通二二三三・二三二六 〇一Bケ四(五一〇〇)四特通

川崎、山本(鈴 三)

20. 2. 3-



人

二三 受信開始 〇〇一一五〇〇 譯了 〇二二三〇 電電 〇〇一一一一五 作概 〇

緊急



二六根戦闘概報着信艦所・第三南遣艦隊各口

機密第〇三二二〇二二番電 二分ノ二ニ

六五B 戦闘概報 二日

一、空襲状況 〇八二〇ヨリ 〇九四五迄 P1 四〇 二二三ワシレ 地区銃爆撃

一七五〇 單發ニベタク見張所銃撃 一〇〇〇 一〇〇〇 一五五〇ス

ピットファイヤ各二 一〇三〇 P1 三八 一機カウ湾地區偵察隊果

被害ナシ

三、艦船状況 タルエバ入港大型輸送船一 驅逐艦三 旋泊(異狀ヲ認メズ)

輸送船大型七 中型三 小型二 驅逐艦九 海上トラツク四

三、敵機行動状況 毛ロタイ發進針路北乃至西 大型三五 小型六不明機

通 一六計五六七 一二八五 呂一Bケ三(一二二五K) 二二一

堀内、野村(森田)

20. 2. 3-





下

二 三 受信 〇〇三  
 譯始 〇四〇〇  
 譯了 一一〇〇  
 電 〇一二三四  
 航作 〇  
 本 〇

● 總無線艦所用共通符號

● 大海參一部・横通・父根

● 硫黃島航空基地

機密第〇二二一〇〇番電

發 母島警備隊司令

宛 横須賀鎮守府參謀長

受報 硫黃島警備隊

敵機ノ機種ヨリ推量スルニ敵ハマリアナ方面ニ對スル我ガ空襲ヲ極力封殺スル爲ニ硫黃島ヲ連續深究其ノ方面ノ暗成ニ當リツツアリテ硫黃島航空兵力ヲ強化出來得ル限リマリアナ方面ヲ空襲攻勢防空策ヲ採ルノ要ニ迫ラレアリト思考ス。

「京通誌 本電誤字極メテ多シ」

通一三一四 呂一B (B) 横須賀 片倉 (雨谷)

20. 2. 3-

緊急

二 三

受信開始 〇〇二〇五〇三

譯了 〇四〇〇 電 〇一四三

航作概本〇

九三六航空隊

一護衛艦隊

海上護衛總口・東通・一南遣艦隊口・カムラン航空基地

機密第〇二二二一三五番電

通報 GEB 參謀長 航空本部總務部長

當隊佛印方面各基地連絡輸送ニ極メテ困難ナル情況ニ依リ任務遂行  
上輸送機ヲ絶對必要トスルニ付貴司令部ト協議シ武裝機ニテモ至急派  
遣方取計ハレ度。

通一二七九 天一Bヶ四 (六二三五RO) 十通 入澤 (小澤)

大

二 三 愛備 開始 一〇〇三〇 靜了 一三〇〇 電 〇一二四五 航作概本〇

緊急



● 二聯省陸地航空部隊戦闘概報着信處所

機密第〇二二二一三五番電

攻堅二五二飛行隊派遣隊戦闘概報 (二月二日)

一〇七三〇發一一〇五歸着 一五三〇發一九三〇歸着 各々天山四機

バラバツク海峡偵察 一六三七地點「アリア」に於て浮上小型

敵潜水艦ヲ發見一六四〇潜没セルヲ攻撃二五番二號爆彈一彈至

近彈ナルモ目没トナリタル爲效果不明其ノ他異狀ナシ

一〇四〇一〇五八一二四 一機飛行場周邊偵察

兵明日ノ實動機救天山二機

一三九五 呂一八ヲ十八 (一八三六七五KG) 二一

稻葉 (細川)

20. 2. 4

cy



二 三 受信開始 〇〇四一五〇 譯了 〇九三五 電 〇一二三二 整 施

● 横 鎮

● 施 設 本 部 總 務 部  
● 防 空 隊 須 賀 隊 須 賀 警 備 隊  
● 航 空 隊 須 賀 隊 須 賀 隊  
● 東 航 空 隊 須 賀 隊 須 賀 隊

機密第〇二一九三二番電

發 二〇八設營隊長

二月五日以後八丈築城施設方針大部横鎮ノ現地部隊全能力ヲ以テ左

記ノ通着工ヲ供試方御配慮ヲ得度

(1) 櫻花基地ノ特令ナケレバ平地(彗星)用有蓋掩ヨリ左ノ(運搬踏

ノ倉)三月末日三棟五月末日二棟格納陸道幅高共ニ五米延長

一三〇米三月末日完了ノ豫定

一三九五 呂一〇ヲ十八( B ) 横通 石島 (久保田) (一)

20. 2. 4



(四) 警備施設ノ部八糧砲時火點三月末日四箇所完成ノ豫定(四〇箇所

ノ時火火點工事爾後逐次施行豫定地下兵力ノ少兵力ノ充當)

(五) 要急送資材櫻花基地用セメント四〇〇屯金鋼一〇番目三〇〇〇平

方米丸鋼三〇屯(丸耗一〇屯一二耗 屯二二耗一〇屯)木材一〇

〇〇石自動車燃料油二五〇〇〇立警備施設用セメント一六〇〇屯

丸鋼三五〇屯(丸耗一五〇屯一二耗一〇〇屯)木材二〇〇〇石火

藥用一式二五屯自動車燃料油三五〇〇〇立

(六) 其ノ他資材逐次補給ナクシテハ右豫定見込ナレ

三 横防關係工事及各隊豫定全工事ハ一箇設警隊(約五〇〇名)増派ナ

クハ中止ノ他ナレ

三 詳細書類後送

(二)

5

緊急

二  
三

受信開始 〇〇三  
〇四〇  
〇八

譯了 〇四二五 電 〇一一四二 作 概

● 二 一 航 戰 ▶

停

● ●

高警・一聯合基地航空部隊  
南西方面陸隊尸・聯合艦隊尸

機密第〇二二二三七番電

W三 A B 戰鬥概報 (二月二日)

一一一〇ヨ、一二〇〇迄 B I 二四 二四機 P I 三八 二五機高雄基地

ニ來襲地上砲火ヲ以テ邀撃戰果 B I 二四 一機撃破被害人員戰死二名

重傷四名飛行機一式陸攻大破三機小破三機零式陸送機一機大破其ノ他

極メテ輕微

通一三一三 呂一五々四 (四七〇五 K) 高通 澤 (川崎)

20. 2. 3.

人

二三 受信〇〇三四一五〇 譯了〇四五三 電〇一一三七 作概

作

二五根戦闘概報着信艦所

機密第〇二二三二五番電

二五KB 戦闘概報 二月二日

一「ブラ」〇八四八B一二五 一投弾二等衛生兵一名戦死、戦果ナシ

二「パンダネイラ」〇九四五B一二五 一偵察

三「セラム」島北西岸竝ニ「ナムレア」一三一五一一三二〇

B二五 二偵察。

通一三二三 出「ブラ」八六二二二五五KC(一一一)通 山本(志田)

00. 2. 3-



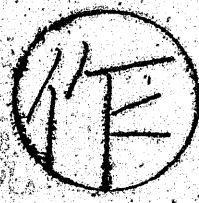
人

二三 受信 一三二五〇五 譯了 一三一四 電 〇一二八三 作概 〇

作戰特別緊急

三 一 根

大海參一部・南西方面艦隊P・三南遣艦隊



機密第〇二二三五〇番電

發 振武參謀長

一日一〇三〇迫撃砲ヲ有スル約二大隊ノ敵ハ「アガ」西方二軒通過  
東進セリ同時ニ敵ハ「アガ」西方二軒三五九高地占領セリ「ヘヤロ  
ス」方面ノ敵ノ一部ハ一日一七〇〇「ボカウエ」通過南進セルモノ  
ノ如シ

通一四九八 於十三(一二八一〇KG)五分遣 森(川崎)

20. 2. 4



手

二三 受信 〇四一〇〇 譯了 〇四四五 電 〇一一二五 航作 本機 〇

作戰緊急

共符

傍

南西方面艦隊

聯合艦隊。六艦隊。一航空艦隊。アバリ連綴基地隊。高警

機密第〇二二三五五番電

發 第一輸送戰隊司令官

宛 南西方面部隊參謀長

アバリ連綴基地增強員ハ戰死傷及大海幕僚一機密第二八七號ノ五ニ依  
リ高警部隊ニ編入セラレ電信員九暗號員三發電機員二一短移動電信機  
及空三號各一トナリタル所隊員位置ヲ（アバリ）トスル場合ハ空輸  
（バトリナオ）トスル場合ハ潜水艦（便）ニ依ルヲ有利ト認ムルニ付  
都合至急知ラサレ度。

連一三三八

20. 2. 3.

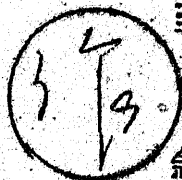
二 三

受信一四〇五四番了一二三〇

電〇一七三三八

整作

至 急



兵備局・大湊通信隊  
政本部・一二航空隊

千根

機密第〇三〇七二一番号二分ノ二

通報 大湊警備府参謀長・大湊工作部長

州崎及笠戸擲捉ヲ他方面ニ使用スルコトトナリ且修理シ得ル輸送船ノ

配船モ極メテ減少ナル爲之ガ完全護衛ヲ必要トスルニ至リタルモ護衛

艦ノ不足ナルヲ以テ當隊配屬船御津丸ニ左ノ裝置ヲ行ヒ護衛艦トシテ

使用致度キ處然ルベク御配慮ヲ得度

一 探信儀聽音器裝備

通一四七五〇

呂一五〇

大連三特通

大連三特通

20. 2. 5.

二 爆雷八増載

三 短短<sup>五</sup>短短砲ヲ八短高角砲ニ換裝（船体補強濟ス）

四 二五耗聯裝機銃一基裝備（船体補強濟）

五 雷波探信儀裝備

六 各種信脚兵器ノ裝備尙右工事ノ時機ハ四月ヲ希望ス

東 通

（本雷誤字極メテ多シ）



2/2

人



二 三 受信一四一五 譯始一五二〇 譯了二六二〇 電〇一三五六 作 概

緊急

● 二 三 根 戰 闘 概 報 着 信 監 所

● 八 警 備 隊

機密集〇三〇八二〇番電

局長	戰	九	三	四	一	〇	一	三	八
課長	九	三	四	一	〇	一	三	八	一
A	ラ	ブ	ハ	ナ	リ	フ	ア	イ	タ
B	ラ	ブ	ハ	ナ	リ	フ	ア	イ	タ

「トモホシ」(概ネ二機宛)ニ來襲「ランゴアン」地區銃撃ス 戦果被害ナシ(「アムラン」通信杜絶ノ爲狀況不明)

「ラブハナ」地區周邊旋回。

通一五一三 呂一Bラ一八(八八三六七、五E)二一通

安彦(塩田)

20. 2. 4.





Handwritten mark resembling a stylized '人' or '入'.

緊急

二二三

受信開始 〇九三八

譯了 一〇三〇 電 〇一二二五

作 概

硫黄島航空基地

七基地航空部隊戦闘概報着信艦所

機密第〇三〇八二八番電



日二A日 戦闘概報第一五九號 (二月三日) 其ノ一

二月一九四五ヨリ二二四七迄大型単機四回來襲北地區ニ投弾戦  
果ナシ被害水槽二破損

二月一日ヨリ敵ハ夜間大型爆弾ヲモ使用セリ。

通一三八七 呂一Bケ四 (一〇二〇〇KC) 父通 日里原 (細川)

20. 2. 3-

人

Y

緊急

二 三 受信一〇一四  
譯始一〇三〇

譯了二〇四〇 電〇一二五二 誦通

揚子江方面特根

一情報着信艦所・聯合艦隊

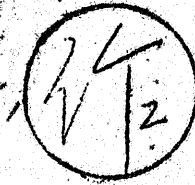
機密第〇三〇八五九番電

二日二二〇〇頃哨戒機ヨリ、<sup>豫州宛</sup>送話「航空母艦又ハ輸送船三  
驅逐艦三隻外ニ驅逐艦四隻地點北緯一七度四〇分東經一〇九度  
四〇分針路一八〇度速力一五節乃至二〇節發見時刻一九〇〇」  
（艦軍報ノ爲遲延）。

通一四一五 於十三（七五〇五）上海。川島（機簡）

2/2

二三 受信一六四一〇〇 譯了一九三〇 電〇一四四五 作 機



一海上護衛部隊 一護衛艦隊 海上護衛隊 戸

機密第〇三〇九三〇番電

電波方向探知機電波探信機ハ對海(艦艇)用ノミニ使用スベキモノト誤  
認セラレアルヤニ認メラルル處對空用トシテモ其ノ價値大ナルヲ以テ(無防警ニテ編隊六〇軒以上測定可能)種極的ニ利用シ以テ敵飛行機ノ早  
期捕獲ニ努ムルヲ要ス。

浦一五一六

天二日(三十三)三十三(五)高海 目黒(藤田)

20. 2. 4.

二四

受信開始 〇〇三三五  
六一三三

譯了 〇六五四  
電 〇一六一九

航作概本

二二根



二二根 戰團概報着信盤所

一〇通 北ボルネオ守備隊 (陸軍)

機密第〇三〇九四〇番電

通報 離參謀長 第二十八航空戰隊司令官

第二警備部隊戰團概報二月三日

〇五〇〇ヨリ 〇五三〇迄敵大型機一機 (機種不明) 低空ニテバリ  
ツタバパン灣口及第一飛行場附近ヲ偵察東方ニ遁走ス 戰果被害ナ

通一八三七

協作ヲ二十二、六、一、二、三、五 KC (二一) 通 吉田 (上野)



42

人



二 三  
受信一三四五  
譯始一三四五

● ロ夕敵情遠望着信艦所

機密第〇三一一〇〇番電

譯了 一四二〇 電〇一二九八

參作  
概本〇

二日發見機B一三九北行五機南行二機一五一五テニアソ上空ヲ旋回ト  
ルモノ二一機其ノ他一二〇機（内中型以上爆撃機約五〇機）ハシテ大型  
機ノ行動頻繁トナル一日以來艦船ヲ認メズ〇八三〇ヨリ殆ド終日大  
宮島方向ニ砲聲ヲ聞ク。

通一五〇八 ト一一一 一七六三〇ケ 四通 西河（新井）

20. 2. 41

52

人

二 三 受信一六二三七 了 一七二〇 電〇一三八〇 作 概〇  
緊 急

傍

● ● ホルネオ守備軍ナダ司令官・二十一通  
● ● 十一根

機密第〇三一 一一五番電

發 G K F 參謀長

宛 ナダ參謀長

通報 イ總參謀長

ナダ參電第四一一號關聯

在「サンダカン」第六震洋隊ヲ督軍ノ指揮下ニ入ラシメ差支ナキ意  
向ナルモ現狀ニ於テ之ガ「ブルネー」方面ヘノ輸送方手配ヲ得度  
當方トシテハ見込タズ現配備ノ位置ニ於テ作戰セシムル外ナシト  
認メアリ改メテ貴見承知致度。  
通一五四九 協作 (一 二八一〇 KC) 五分道 堀内 (同 谷)

20. 2. 4

492

人

二三  
受信一六五二  
譯了一六二九 電〇一三六五  
航作概本〇



夕  
ナ  
三

灣内ニ敵艦四隻巡洋艦八隻驅逐艦一〇一五隻輸送船大型四〇隻輸送  
船中型輸送船小型八〇隻其ノ他ノ艦艇五〇隻アリ 大型機六〇機中型機  
一二〇機敵附近天候晴視界二〇一三〇哩雪量七雪高約四千米 一五二一五。

通一五七六 カ一〇(七五六五)C(一〇四四)B放 長尾(松山)

20. 2. 4



X

42

二 三 受信 一三五一二  
開始 一三五〇

譯了 一四一五

電 〇一三二八

作艦 〇

航本  
艦

至急



- 一聯合基地航空部隊
- 三一戰隊
- 聯合艦隊司令部
- 六艦隊司令部
- 高橋

機密第〇三一二二〇番電

N B B 電合作第三一號

N B B 電合作第二二號ニ依ル輸送ヲ取止ム航空關係員ノ輸送ハ

水艦ニ依ルモノトシ其ノ要領ヲ南西方面艦隊機密第〇二二二一五

番電ノ通トス實施ノ細部ニ關シテハ一〇五〇 B 指揮官直接潛水部

隊ト協議スベシ

通一四八一 呂ニヨラ十八 一三二八一〇 KC (五分遺隊

20. 2. 4



二 受信 〇一五二七  
三 開始 〇一四〇  
譯丁 〇二一五  
電 〇一五六八  
作 藏



千島防備部隊戰國海報通信艦所  
一二航空艦隊  
機密第〇三一四七番電

第五十二警備隊戰國海報第四號 (武藏地區二月三日)

一、〇九四五 B 脱作 三機九〇度方向ヨリ最超低空ニテ侵入周邊ニ銃

撃及小型爆弾二箇投下後東方ニ避退セリ

二 戦果不明被害電探一基至近海ノ爲使用不能

三 發射機銃十二挺高角砲二 二十五倍機銃四五 十三倍機銃六

四 天候晴雲量五雲高七〇〇風速〇風界三五杆。

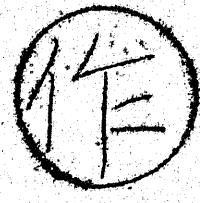
通一五四二 壽 B (八五一〇) 占 通 日高 (杉本)

20. 2. 4.



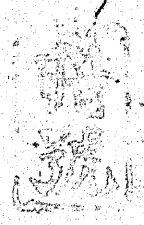


二三 受信開始 一三三八五 譯了 一四〇〇 電 〇一二九二 作 瀨 〇



ロ夕 戰鬪 瀨 報 着 信 艦 所

機密 第 〇 三 一 二 〇 〇 番 電



二日 四 U I 一 三機 アベンジャー 二機 夜間 機種 不明 延 四機 二回 亘  
リ 來襲 銃 爆撃 一日 〇一三〇 敵 飛行機 へ 後 半 夜 月 明 ヲ 利 用 シ 來襲 海 岸 陣  
地 飛行場 殘 存 家 屋 等 ヲ 銃 爆 撃 被 害 ナ シ

通 一 五 〇 四 登 十 一 ( 八 九 九 五 五 ) 四 道 放 安 彦 ( 川 崎 )

20. 2. 4

人

172

二 三 受信一三〇五 譯了機二五 電〇一三二七 作 概 譯始一四一五

父根戰鬪概報着信艦所

父 根

六、一二各海防艦。掃二九

機密第〇三二二二三番電

戰鬪概報二月二日

一、二二二一及二二三一各敵大型單機高度約二千米ニテ侵入、雲上ヨリ 兄島水道及二見港内崎岩地方海面ニ磁氣機雷計四箇投下、 三戰果被害ナシ。

通一四九三 天二Bケ三(一〇二〇〇K)父通

菅原(山中)

20. 2. 4.

人

急  
傍

二 三 受信二〇二九 譯了二三〇〇 電〇一五〇九  
始二一〇五 航作  
本〇

急

アバリ航空基地・アバリ運綴基地隊

第一航空運綴隊・高 警・第三一機

機密第〇三一三一八番電

發 南西方面艦隊參謀長

HIB電令作第一號

GKF機密第〇一一〇五四番電關聯

「アバリ」

運綴基地隊「バタリナオ」移動後

「アバリ」基地ノ通信ハ「アバリ」航空基地ニテ擔任シ高警ヨリ  
ノ増勢隊アバリニ來着ヒバ直ダニ任務ヲ繼 承アリ候

通一六八二 天B(八八八四) 小

20. 2. 4-



向アハリ航空基地トアハリ運搬基地線増勢ガイトハ通信ノ施上ニ  
ヲ密ニシ出來待レバ電信所ヲ一個所ニ統合聯合ス管理ヲ實施シ通信  
力ヲ増大スル如ク努メラレ度。

人

二 三 受信機一六一五 譯了一七二〇 電〇一三三九 整 基

緊急

鹿屋空基地

● 施設本部・航空本部

● 大海上二部、聯合艦隊口、二五航戰

機密第〇三一三三七番

發 十一航空戰隊司令官

現在各地ニ於テ特急工事ヲ以テ施設工事中ノ櫻花格納及運搬施設ハ  
實用ニ適セザル虞レアリ鹿屋基地ニ於ケル實驗成果ニ鑑ミ至急改善  
ノ要アルヲ以テ關係職員至急派遣セラレ度

通一五六九 呂一〇ケ四 (七六〇五) 鹿屋空基地

奥島 (久保田)

20. 2. 4.

二四 受信〇〇四〇〇九 譯始〇五〇〇九 譯了—一〇三〇 電〇〇一五八六 作 概



四一警備隊バガン派遣隊

四一警備隊

大本營海軍部・聯合艦隊口・四艦隊口・赫黃島航空基地

機密 〇三一四一五番電 二分ノ一二

バガン派遣隊近況報告

一、來襲敵機毎日B—二九 三機乃至五機戦闘機四機〇七〇〇—一六三

〇ノ間定期的ニ來襲(戦闘機ハ概木一五〇〇—一六〇〇ノ間)B—

二九ハ五〇〇〇乃至八〇〇〇ノ高度ニ於テ投擲戦闘機ハ高度三〇〇

位ニテ短時間銃撃シ退去ス

二、二月三日〇九二五B—二九 四〇機來襲編隊高度五千米附近ニテ燒

夷彈及燒夷カ—ボン投下椰子林地帯ニ東西八〇〇米南北五〇米ノ地

區ニ散布我が方被害輕微隊員一同士氣益々成ニ戰行達成ニ邁進シツ

ツアリ

通 一八八四〇二

天二Bケ三

五—B (〇〇) (〇〇) (〇〇)

特 督 府 (松山)

20. 2. 5



Handwritten signature or mark at the top center.

二三 受信一七七一五 譯了一七五〇 電〇〇一四四一八〇 諜 通

緊 急

總無線艦所用共通符號

聯合艦隊中・南西方面、第一護衛各艦隊中・沖繩根下  
第一航空艦隊中・海防、高雄各守備隊

大和田通信隊・第二一、第二四各通信隊

機密第〇三一四四五番電二分ノ一二

發 高雄通信隊司令

二日菲島敵機動靜

一、哨戒機系 三六「一六」

二、偵察機系 二四「八」夜間臺灣南部來襲機「ZS三三Z」

三、機一系

通 一六〇七八 呂一〇(九一四五) 高田 川崎・平島(太田)

20 2.4



三 攻壓機系 一七(六) 臺灣來襲機 O B 二 A 一 二 W T 一 K 一

二七七 一、三機三隊

四 三日 一〇〇〇〇 V 八一九 及 O W 八二〇 攻壓系

ニ シ ツ 磨 下 海軍機ノ 菲島進出ノ 臺灣來襲ハ 最初ニ シテ 嚴戒ノ

要アリ 電波六〇九〇 K 二 出系ノ 爆震報告ハ 天偵系同一ナル通

話式平文( ) ヲ F R H ハ マ ツ カ ア サ 一 磨 下 菲島所在 攻壓機軍指揮

官一宛

緊急

二三 受信 一六五〇 譯了 一七三六 電〇一三七六 作概〇  
始信 一七一七

第三十一通信隊第五分遣隊

聯合艦隊口・第六艦隊各口・第一輸送戰隊

高警



機密第〇三一五四八番電

發 南西方面艦隊參謀長

高地方面ニ殘留潛在中ノ陸軍步兵團ノ一部ヲ「アバリ」方面輸送便  
アル場合爲シ得ル限リ便乘輸送方第十四方面軍ヨリ要望アリ然ルベ  
ク配慮ヲ得度。

浦一五八六 呂二月十八(一三二八)〇KC(廿一)通 吉田(小野田)

二 四 受信 一三二二 了〇一四〇 電〇一九八五 作 概

緊 急 マツブ航空基地

第五基地航空部隊職概着信艦所

三〇 想

機密第〇三一七〇〇番電

三五 職團概報

一〇七三〇一〇八一五大艇一機〇九一五一〇一五TBFI一三機

五〇度ヨリ來襲マツブ島銃爆撃後共ニ五〇度ニ去ル一四三〇PB Y

一 一 二二〇度一五〇〇P四U一七機二六〇度ヨリ來襲マツ

ブ島トミール・バラバツト地區銃爆撃一五四五共ニ二二〇度ニ去ル

一六四五十一七四五大艇二機一六〇度ヨリ來襲西方海面上旋回九〇

度ニ去ル

三 戰果 P四U一機墜一機PB Y一機墜留所ニ着水搭乗員救助ニ

20. 2. 5-



着手搭乗員左ヨリ浮舟ニ繼付クモ陸上ヨリノ銃撃ニ依リ救助シ得ズ  
 離水不時着機附近上空旋回中同機並ニ搭乗員ヲ銃掃射スル事數回  
 一五四五搭乗員其ノ儘トシ全機二二〇度ニ去ル  
 三味方被害ナシ

（東通註

本電再送ノ爲遲延）